



サポートショップ会員の皆様並びに

新たにサポートショップご入会をお考えの皆様へ

株式会社松本山雅 代表取締役 大月 弘士
山雅後援会 理事長 山村 和永



拝啓 春寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、私どもの活動に
対しまして格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、松本山雅FCは、多くの皆様の御支援を賜り、J2の舞台へと昇格する事ができま
した。ホームゲームにおける観客動員数は、1試合平均7,500名を超え、この盛り上が
りは、Jリーグの掲げる「100年構想」に最も近い運動として評され、全国の地方都市か
らも、サッカーを核としたまちづくり運動として注目されております。

この盛り上がりは、松本山雅に関わった全ての皆様の御支援の賜物であり、改めまして深
く感謝申し上げますとともに、松本山雅の設立当初よりの理念であります「サッカーを核と
したまちづくり運動＝地域の活性化」が具現化されつつある事を実感しております。私ども
は、これらが一過性のものではなく、地域に根ざした市民運動として発展して行くためにも、
今後は更なる地域社会との連携や、より広範囲に及ぶ皆様からの御支援が必要だと考えてお
ります。

そこで、これまで皆様方より御支援頂いておりましたサポートショップ事業を、より発展
的な地域活性化事業として拡大して行きますよう、今期より山雅後援会の活動へと移行させ
て頂く所存でございます。

山雅後援会は、2010年10月に発足して以来、約50の法人及び団体の皆様、並びに
約200名の皆様より御入会を賜り、山雅運動の一翼を担う能動的な活動団体として、チー
ムバモスによるゲーム運営支援を始め、スタジアム清掃、震災の募金活動、映画クラシコ
の上映、ユースの支援、地域支援活動、会員親睦会など、松本山雅を核とした社会活動を積極
的に行って参りました。

私どもは、山雅後援会が地域社会と連動して健全に発展して行く事が、今後の山雅の発展
の鍵となると考えております。詳細につきましては別紙の通りでございますが、今までサポ
ートショップとしてご協力頂いておりました皆様に対しまして、深く御礼申し上げますと
ともに、引き続き松本山雅を力強くサポートして頂きますよう切にお願い申し上げます。

また、新規でお考えの皆様におかれましても、ぜひ前向きにご参加頂きますようお願い申
し上げます。

末筆ではございますが、皆様の益々の御繁栄並びに御健勝を御祈念申し上げます。

敬具

2012年3月吉日